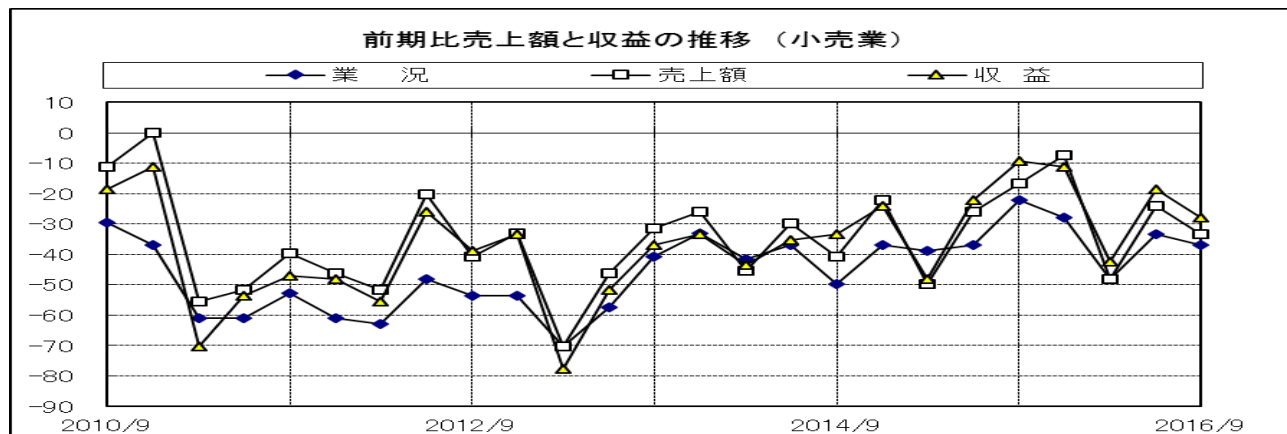


小売業 54企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績
業況	-48.2	-33.3	-37.0	-29.6
売上額	-48.1	-24.1	-33.4	-14.7
収益	-42.5	-18.6	-27.8	-11.1

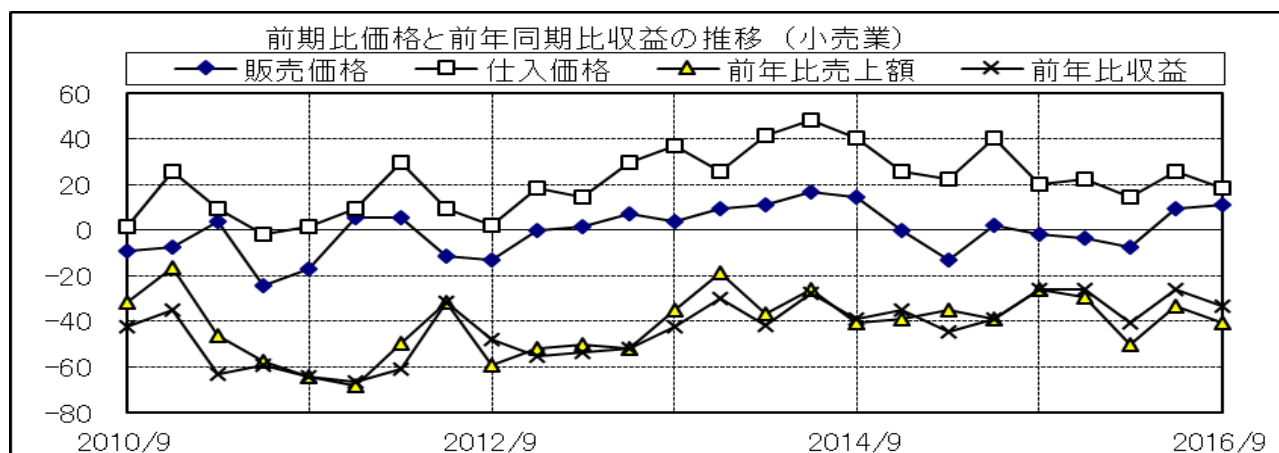
今期の業況判断 D. I. は△37.0 と、前期比 3.7 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、三石、えりも、広尾、静内、様似、浦河と続いた。業況判断 D. I. は、前年比（△22.1）で 14.9 ポイント下降した。売上額判断 D. I. は△33.4 と、前期比 9.3 ポイント下降。収益判断 D. I. は△27.8 と、前期比 9.2 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	-7.4	9.2	11.1	18.4
仕入価格	14.8	25.9	18.5	27.7

販売価格判断 D. I. は 11.1 と前期比 1.9 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 18.5 と前期比 7.4 ポイント下降した。販売価格は前年比（△1.9）で 13.0 ポイント上昇。仕入価格は前年比（20.4）で 1.9 ポイント下降した。業種別で衣料品・家電品は販売価格、仕入価格ともに下降。食料品は販売価格が上昇、仕入価格は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-9.2	-9.4	-3.7	-5.5
人手状況	-13.0	-16.7	-22.2	-22.2

残業時間判断 D. I. は△3.7 と、前期比 5.7 ポイント上昇、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断 D. I. は△22.2 と、前期比 5.5 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

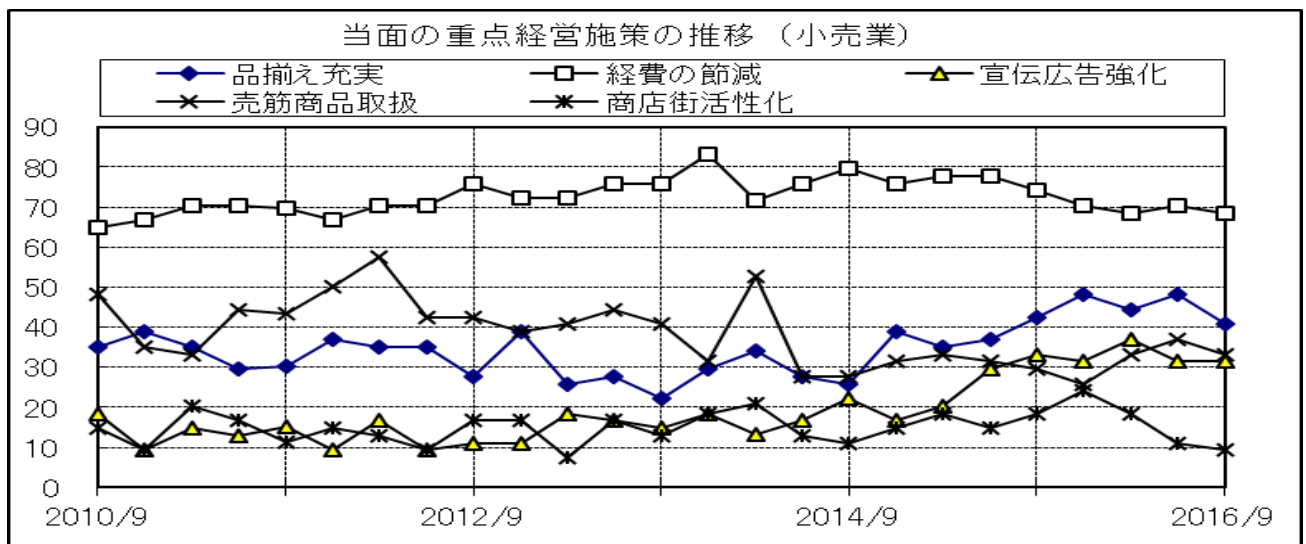
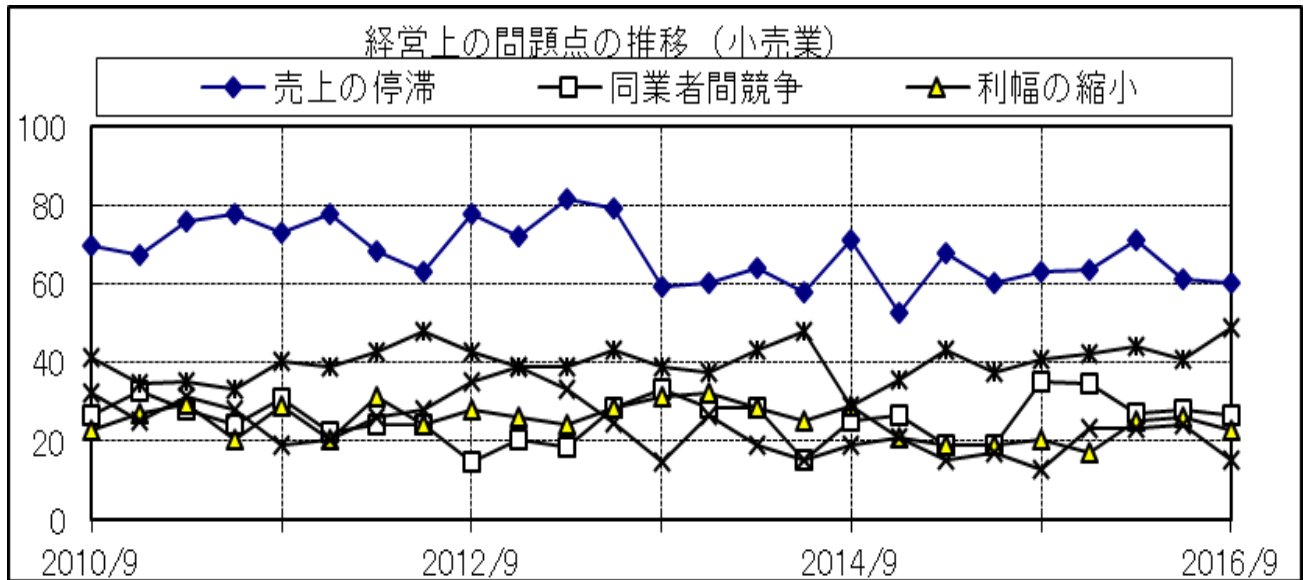
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は△13.0と、前期比1.9ポイント上昇した。

設備実施企業割合は5.6%と、前期比1.8ポイント下降、設備投資は、前期4社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資の予定は5社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」60.4%、「商圈人口の減少」49.1%、「同業者との競合」26.4%、「利幅の縮小」「取引先の減少」が同率の22.6%、「商店街の集客力低下」17.0%と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」68.5%、「品揃えを改善する」40.7%、「売れ筋商品取扱」33.3%、「宣伝広告を強化」31.5%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△29.6と、今期比7.4ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は△14.7と、今期比18.7ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は△11.1と、今期比16.7ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は18.4と、今期比7.3ポイントの上昇を見通している。

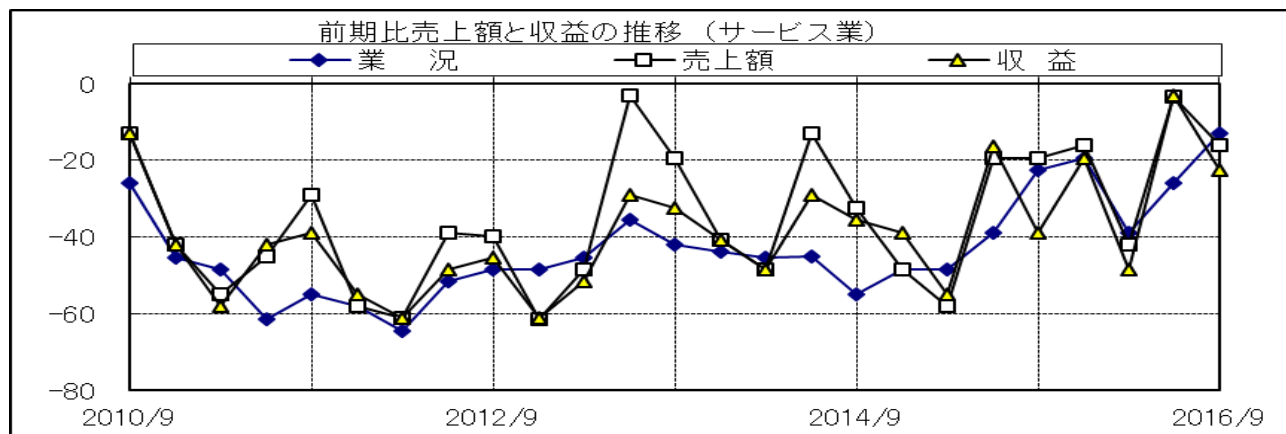
予想仕入価格判断D.I.は27.7と、今期比9.2ポイントの上昇を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-38.7	-25.9	-12.9	-12.9
売上額	-41.9	-3.3	-16.1	-22.6
収 益	-48.4	-3.2	-22.6	-22.6

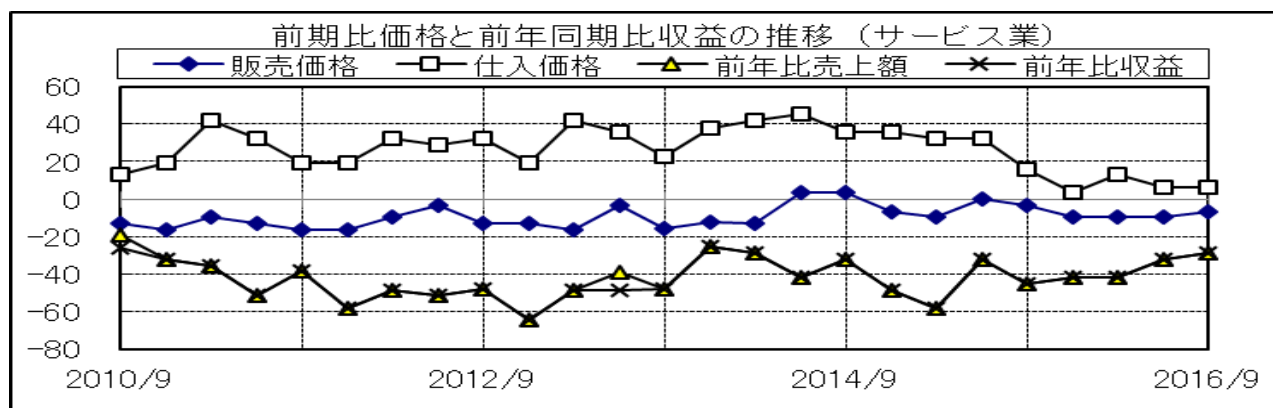
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 12.9$ と、前期比 13.0 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、えりも、静内・三石が同水準、次に広尾、浦河が続き、様似が最も低い水準となった。前年比 ($\Delta 22.6$) では 9.7 ポイント上昇した。売上額判断 D. I. は $\Delta 16.1$ と、前期比 12.8 ポイント、収益判断 D. I. は $\Delta 22.6$ と、前期比 19.4 ポイントそれぞれ下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
料金価格	-9.7	-9.7	-6.5	-9.7
材料価格	12.9	6.4	6.4	12.8

料金価格判断 D. I. は $\Delta 6.5$ と前期比 3.2 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 6.4 と前期比横這いとなった。業種別にみると、自動車整備業で料金・材料価格とも下降。洗濯理容業は料金・材料価格ともに上昇した。料金価格は前年比 ($\Delta 3.2$) で 3.3 ポイント下降。材料価格は前年比 (16.1) で 9.7 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-12.9	-19.3	-6.5	-19.4
人手状況	-12.9	-22.6	-22.6	-19.4

残業時間判断 D. I. は $\Delta 6.5$ と、前期比 12.8 ポイント上昇、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 22.6$ と、前期比横這いとなり、人手不足感が続いている。

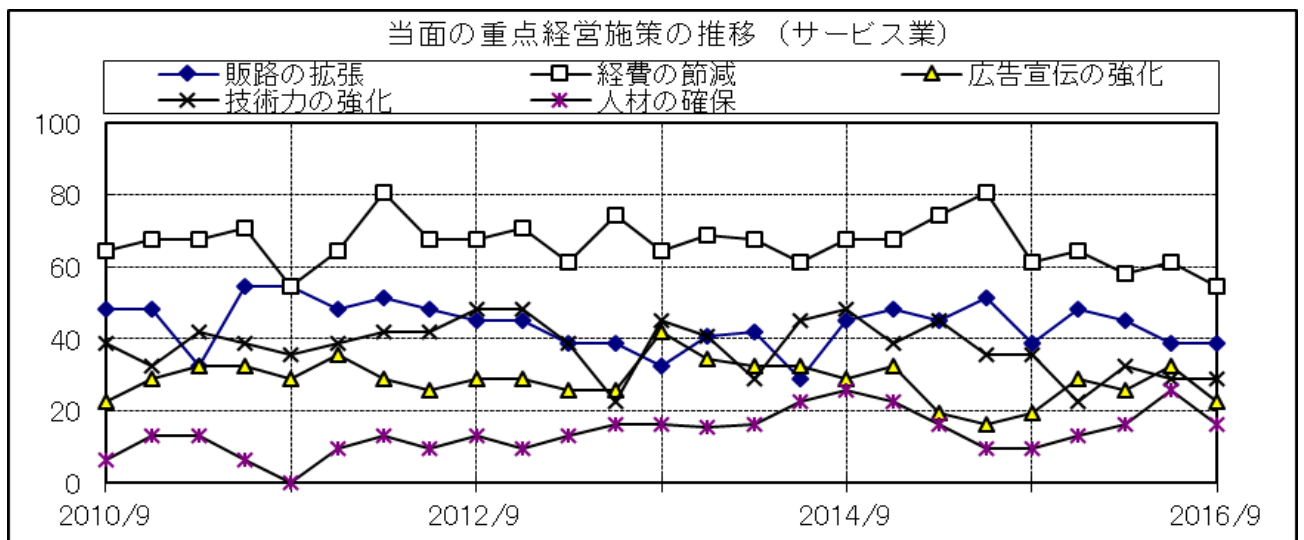
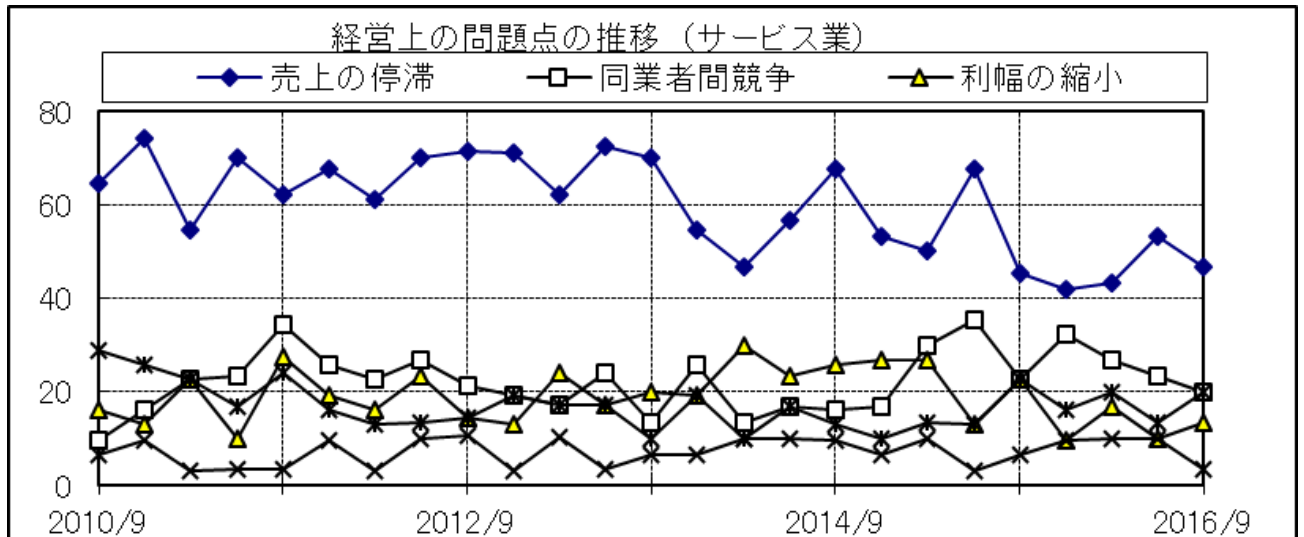
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は△9.6と、前期比9.8ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は12.9で前期比12.9ポイント下降。設備投資は、前期8社の実施に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」・「商圈人口の減少」が46.7%、「同業者との競合」・「材料価格の上昇」・「人手不足」・「地場産業の衰退」が20.0%、「店舗設備の老朽化」16.7%と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」54.8%、「販路を広げる」38.7%、「技術力を強化する」29.0%、「宣伝広告の強化」22.6%、「教育訓練を強化」19.4%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△12.9と、今期比同率の横這いを見通している。

予想売上額判断D.I.は△22.6と、今期比6.5ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△22.6と、今期比同率の横這いを見通している。

予想料金価格判断D.I.は△9.7と、今期比3.2ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D.I.は12.8と、今期比6.4ポイントの上昇を見通している。